

# 投資信託説明書 (交付目論見書)

使用開始日 2019.7.18

## 株式オープン

追加型投信／国内／株式

※ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。

商品分類		
単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
追加型	国内	株式

属性区分		
投資対象資産	決算頻度	投資対象地域
株式 一般	年1回	日本

※商品分類および属性区分の内容については、一般社団法人投資信託協会のホームページ(<http://www.toushin.or.jp/>)でご覧いただけます。

- 本書は、金融商品取引法第13条の規定に基づく目論見書です。
- ファンドに関する投資信託説明書(請求目論見書)を含む詳細な情報は、委託会社のホームページで閲覧、ダウンロードできます。
- 本書には、約款の主な内容が含まれていますが、約款の全文は請求目論見書に掲載されています。
- ファンドの商品内容に関して重大な変更を行う場合には、投資信託及び投資法人に関する法律に基づき事前に受益者の意向を確認します。
- ファンドの財産は、信託法に基づき受託会社において分別管理されています。
- 請求目論見書は、販売会社にご請求いただければ当該販売会社を通じて交付いたします。(請求目論見書をご請求された場合は、その旨をご自身で記録しておくようお願いいたします。)

この目論見書により行う「株式オープン」の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を2019年7月17日に関東財務局長に提出しており、2019年7月18日に効力が生じております。

### 委託会社:三菱UFJ国際投信株式会社

ファンドの運用の指図等を行います。

金融商品取引業者:関東財務局長(金商)第404号

設立年月日:1985年8月1日

資本金:20億円

運用投資信託財産の  
合計純資産総額

(2019年4月26日現在)

ホームページアドレス

<https://www.am.mufg.jp/>

お客さま専用フリーダイヤル

0120-151034 (受付時間:営業日の9:00~17:00)

### 受託会社:株式会社りそな銀行

ファンドの財産の保管・管理等を行います。

# ファンドの目的・特色

## ● ファンドの目的

信託財産の成長に重点をおき、積極的な運用を行います。

## ● ファンドの特色

●わが国の株式の中から先端技術の開発と応用に積極的な企業の株式を主要投資対象とし、余裕金は公社債、コール・ローン等で運用します。

株式への投資にあたっては今後の利益成長性を基盤に、売上高経常利益率の動向や株価水準を検討して、中長期の観点から積極的に投資します。

\*資金動向、市況動向、残存信託期間等の事情によっては、上記のような運用が出来ない場合があります。

●年1回決算を行い、収益の分配を行います。

● 毎年4月18日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

【収益分配方針】

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 利子・配当収入を中心に、委託会社が基準価額水準・市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。(ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。)

\*将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

## ● 主な投資制限

株式への投資	株式への投資は、制限を設けません。
同一銘柄の株式への投資	同一銘柄の株式への投資は、原則として、当ファンドの純資産総額の10%以内とします。
株式以外の資産への投資	株式以外の資産への投資は、原則として信託財産総額の50%以下とします。
外貨建資産への投資	外貨建資産への投資は、行いません。



# 投資リスク

## ● 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けませんが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

### 株価変動リスク

株式の価格は、国内および国際的な政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給関係等の影響を受け変動します。株式の価格が変動すれば当ファンドの基準価額の変動要因となります。

上記のリスクは主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

## ● その他の留意点

- ・投資信託(ファンド)の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- ・分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間中の当ファンドの収益率を示すものではありません。
- ・受益者の個別元本によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、クーリングオフ(金融商品取引法第37条の6の規定)の適用はありません。

## ● リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

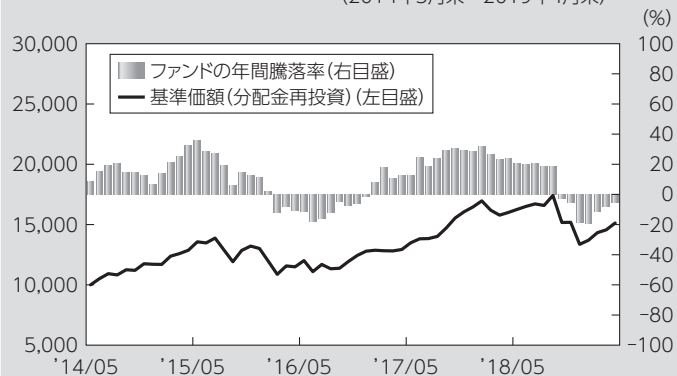
また、定期的開催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。

## ■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較等

下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

### ● ファンドの年間騰落率および基準価額(分配金再投資)の推移

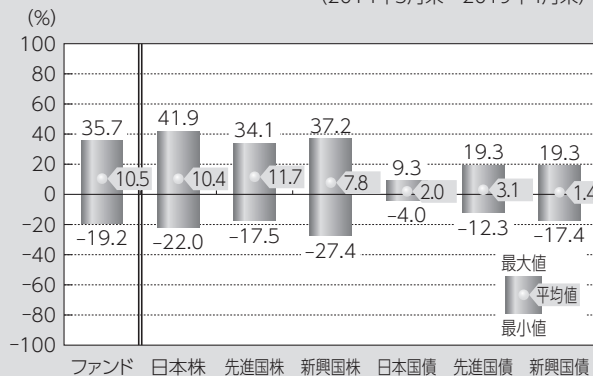
(2014年5月末～2019年4月末)



(注) ファンドの基準価額(分配金再投資)はグラフの起点を10,000として表示しています。

### ● ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2014年5月末～2019年4月末)



ファンド 日本株 先進国株 新興国株 日本国債 先進国債 新興国債

(注) 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

## 代表的な資産クラスの指数について

資産クラス	指数名	注記等
日本株	東証株価指数(TOPIX) (配当込み)	東証株価指数(TOPIX)(配当込み)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み)	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
日本国債	NOMURA-BPI(国債)	NOMURA-BPI(国債)とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI(総合)のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)	FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

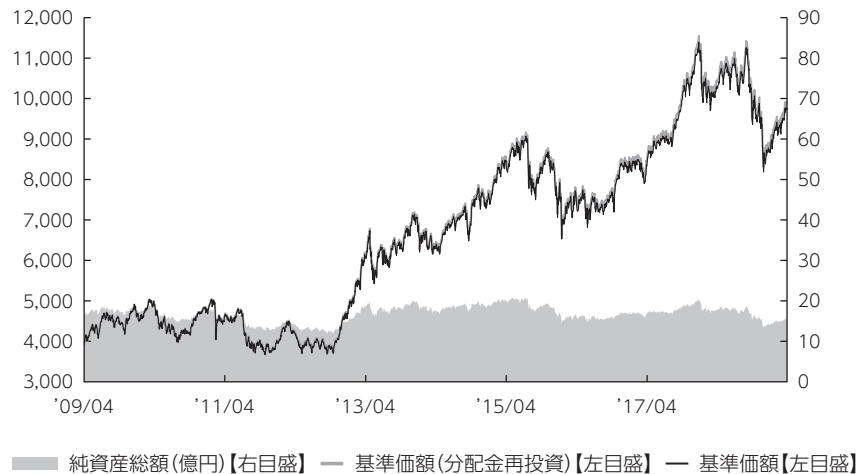
(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。



# 運用実績

2019年4月26日現在

## ■ 基準価額・純資産の推移 2009年4月30日～2019年4月26日



・基準価額(分配金再投資)はグラフの起点における基準価額に合わせて指数化  
 ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は運用報酬(信託報酬)控除後です。

## ■ 基準価額・純資産

基準価額	9,725円
純資産総額	15.4億円

## ■ 分配の推移

2019年4月	10円
2018年4月	10円
2017年4月	10円
2016年4月	10円
2015年4月	10円
2014年4月	10円
設定来累計	5,546円

・分配金は1口当たり、税引前

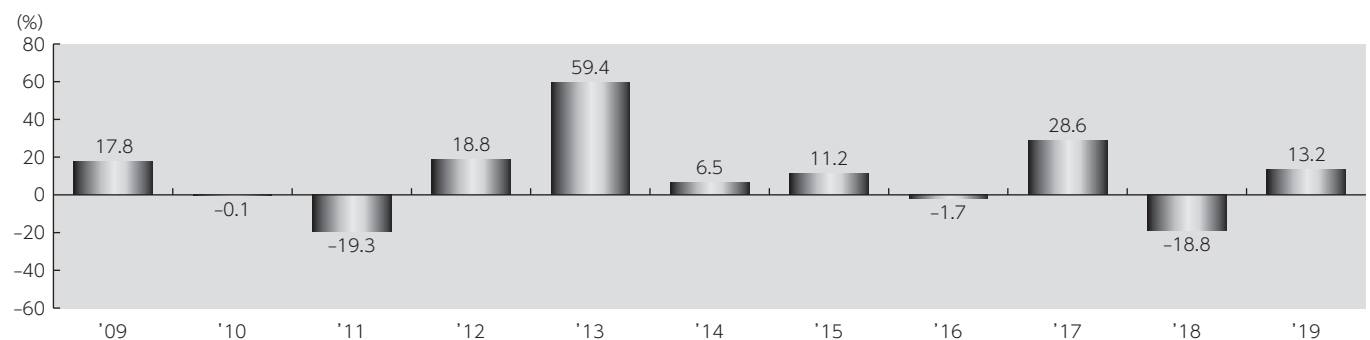
## ■ 主要な資産の状況

組入上位業種	比率
1 電気機器	18.0%
2 情報・通信業	13.9%
3 小売業	11.5%
4 機械	10.6%
5 化学	7.6%
6 輸送用機器	6.0%
7 医薬品	5.8%
8 精密機器	3.6%
9 卸売業	3.4%
10 サービス業	2.6%

組入上位銘柄	業種	比率
1 ファーストリテイリング	小売業	7.5%
2 ソフトバンクグループ	情報・通信業	5.5%
3 東京エレクトロン	電気機器	3.7%
4 太陽誘電	電気機器	3.2%
5 キーエンス	電気機器	3.1%
6 GMOペイメントゲートウェイ	情報・通信業	3.1%
7 資生堂	化学	2.7%
8 村田製作所	電気機器	2.6%
9 三菱商事	卸売業	2.6%
10 テルモ	精密機器	2.5%

・各比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)  
 ・国内株式の業種は、東京証券取引所の33業種分類によるもの

## ■ 年間収益率の推移



・収益率は基準価額(分配金再投資)で計算  
 ・2019年は年初から4月26日までの収益率を表示  
 ・ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。  
 運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。



# 手続・手数料等

## お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位(当初元本1口=1万円) 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額 ※基準価額は1口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社が指定する期日までにお支払いください。
換金単位	1口単位(当初元本1口=1万円)
換金価額	換金申込受付日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して4営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
購入の申込期間	2019年7月18日から2020年7月17日まで ※申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新される予定です。
換金制限	当ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	無期限(1983年4月19日設定)
繰上償還	以下の場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。 ・当ファンドの受益権の総口数が、当初設定時の10分の1を下回ることとなった場合 ・当ファンドを償還させることが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
決算日	毎年4月18日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に分配を行います。
信託金の限度額	2,000億円
公告	原則として、電子公告の方法により行い、ホームページ( <a href="https://www.am.mufg.jp/">https://www.am.mufg.jp/</a> )に掲載します。
運用報告書	毎決算後および償還後に交付運用報告書が作成され、販売会社を通じて知れている受益者に交付されます。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、「NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)」の適用対象です。 配当控除の適用があります。益金不算入制度の適用はありません。

## ファンドの費用・税金

### ●ファンドの費用

#### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	支払先	購入時手数料	対価として提供する役務の内容
	販売会社	購入価額に対して、 <b>上限2.16%(税抜 2.00%)</b> (販売会社が定めます) ※消費税率が10%となった場合は、 <b>上限2.20%</b> <b>(税抜 2.00%)</b> となります。  (購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)	当ファンドおよび投資環境の説明・ 情報提供、購入に関する事務手続等
信託財産留保額	ありません。		

#### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

基準価額倍率(日々の基準価額の前期末基準価額に対する割合)に応じて、純資産総額に対して、**年率0.756%~0.864%(税抜 年率0.700%~0.800%)**をかけた額とします。詳細は下記の通りです。

①日々の純資産総額に年率0.8100%(税抜 年率0.7500%)以内をかけた額に、基準価額倍率に応じて純資産総額に次に掲げる率をかけた額を加減して得た額とします。(委託会社の信託報酬に限りませう。)

基準価額倍率	加減割合(年率)
120%以上	+0.0540%(税抜 +0.0500%)
110%以上120%未満	+0.0324%(税抜 +0.0300%)
90%以上110%未満	零
80%以上90%未満	-0.0324%(税抜 -0.0300%)
80%未満	-0.0540%(税抜 -0.0500%)

※消費税率が10%となった場合は、以下の通りとなります。

基準価額倍率(日々の基準価額の前期末基準価額に対する割合)に応じて、純資産総額に対して、**年率0.770%~0.880%(税抜 年率0.700%~0.800%)**をかけた額とします。詳細は下記の通りです。

①日々の純資産総額に年率0.8250%(税抜 年率0.7500%)以内をかけた額に、基準価額倍率に応じて純資産総額に次に掲げる率をかけた額を加減して得た額とします。(委託会社の信託報酬に限りませう。)

基準価額倍率	加減割合(年率)
120%以上	+0.0550%(税抜 +0.0500%)
110%以上120%未満	+0.0330%(税抜 +0.0300%)
90%以上110%未満	零
80%以上90%未満	-0.0330%(税抜 -0.0300%)
80%未満	-0.0550%(税抜 -0.0500%)

運用管理費用  
(信託報酬)

②各支払先への配分(税抜)は、次の通りです。

支払先	配分(税抜)	対価として提供する役務の内容
委託会社	0.45%~0.52%*	当ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、 基準価額の算出、目論見書等の作成等
販売会社	0.20%*	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、 購入後の情報提供等
受託会社	0.10%~0.03%*	当ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの 運用指図の実行等

\*各支払先への配分(税抜)は、純資産総額に応じて次の通りとなります。

純資産総額に応じて	委託会社	販売会社	受託会社
100億円以下の部分に対して	0.45%	0.20%	0.10%
100億円超300億円以下の部分に対して	0.46%		0.09%
300億円超400億円以下の部分に対して	0.47%		0.08%
400億円超500億円以下の部分に対して	0.49%		0.06%
500億円超の部分に対して	0.52%		0.03%

※委託会社の信託報酬は、上記①の基準価額倍率に応じた信託報酬が加減されます。

※上記各支払先への配分には、別途消費税等相当額がかかります。

1口当たりの信託報酬:保有期間中の平均基準価額×信託報酬率×(保有日数/365)

※上記の計算方法は簡便法であるため、算出された値は概算値になります。

その他の費用・  
手数料

以下の費用・手数料についても当ファンドが負担します。  
 ・監査法人に支払われる当ファンドの監査費用  
 ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料  
 ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用  
 ・その他信託事務の処理にかかる諸費用 等  
 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、当ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時に当ファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、当ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

## ●税金

税金は、以下の表に記載の時期に適用されます。この表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税および地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

※上記は、2019年4月末現在のものです。

※「NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)」をご利用の場合

毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。くわしくは、販売会社にお問合わせください。

※法人の場合は、上記とは異なります。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等に確認されることをお勧めします。

